

I 学校の教育目標

ふるさと大山を誇りとし、次代をたくましく生き抜く児童生徒の育成 ～高い志を持ち、主体的に学習や運動に取り組む生徒の育成～

II 育成を目指す資質・能力

言語能力(他者と協働するための対話力)

III 児童・生徒の課題

学力状況について	学習状況について
児童のR6年1月の日田市学力状況調査では、現2年生は各教科全国平均を上回ったものの、集団の中の学力差は大きく、底辺層に対する基礎基本の定着が課題となる。	○定期テスト5教科での50点未満の生徒22% 令和5年度3学期末生徒アンケート結果より ○授業では、自己の考えをもち、伝えたり発表することができている。 肯定的回答:72% 生活日誌アンケートにおいて ○目標学習時間とメディアルールが守れている生徒 73%

IV 学校評価4点セットの学力に関する達成指標

○定期テスト全教科における基礎・基本問題の正答率60%以上

V 授業改善の取組(「授業改善の5点セット」目標達成に向けた組織的な授業改善)

①授業改善テーマ	対話する力(課題解決に向け、協働しながら思考・判断・表現する力)の習得 ～自己判断・自己表現できる生徒の育成～
②授業改善の重点	「対話的な学び」の場を充実することで言語能力(他者と協働するための対話力)を高める授業の推進

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
1学期	○授業において、「対話的な学び」を充実させる。	○単元に2回以上、授業者は、「対話的な学び」を主とした授業を実践 ○各学期に1回、「対話的な学び」の好事例共有を図るため、互見授業および授業実践交流会を実施	○授業評価「小集団の話し合いで、自分の考えを友だちに伝えたり深めたりすることができましたか」の項目に肯定的評価75%以上 ○生徒アンケート「授業や生徒会活動で、友人と意見交換しながら問題解決に取り組むことができた」肯定的評価60%以上	○生徒アンケート「小集団の話し合いで自分の考えを友だちに伝えたり深めたりすることができましたか」の項目に肯定的評価100% ○生徒アンケート「授業や生徒会活動で友人と意見交換しながら問題解決に取り組むことができた」肯定的評価100%以上の結果から、対話的な活動を通して、自分の考えをアウトプットできていると考えられる。

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
2学期	○授業において、「対話的な学び」を充実させる。	○単元に2回以上、授業者は、「対話的な学び」を主とした授業を実践 ○各学期に1回、「対話的な学び」の好事例共有を図るため、互見授業および授業実践交流会を実施	○授業評価「小集団の話し合いで、自分の考えを友だちに伝えたり深めたりすることができましたか」の項目にA評価50%以上 ○生徒アンケート「授業や生徒会活動で、友人と意見交換しながら問題解決に取り組むことができた」A評価50%以上	

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
3学期				

VI 学習定着状況の把握とフォローの取組 および
個に応じた学習の取組(補充学習・習熟度別指導等) ※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	評価
1学期	○朝学習時に新聞コラム記事の視写、条件作文の実施 ○6限後のドリルタイムで基本的学習内容の定着を図る ○5教科では必要に応じて小テストを実施	○教員は、毎日、ドリルタイムに補充学習を実施する ○5教科担当は、必要に応じて小テストを実施。月に1回、総復習として「プラムタイム・テスト」を実施	○
2学期	○1・2年は朝学習時に新聞コラム記事の視写、条件作文の実施 ○6限目のドリルタイムではQubenaを中心とした基本的内容の定着と新研究による入試対策に取り組み、特にCの生徒に対して見守り、直接指導を行う。 ○5教科の授業で5分間ドリルや単元テストでQubenaに取り組む。	○教員は、毎日、ドリルタイムにQubenaを中心とした補充学習を実施する ○5教科担当は、必要に応じて小テストを実施。月に1回、総復習として「プラムタイム・テスト」を実施	
3学期			

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

VII 学校・家庭・地域の協働の取組 ※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	1学期	2学期	3学期	評価
家庭	・メディアルールの順守について、強化週間を設定し、各学年で取り組む。	○家庭は、各学期に1回以上、記述内容に対するコメントを記入				○
地域	○対話する機会の提供	○学期に1回以上、中学生の体験活動または地域住民との対話の機会を提供				

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

VIII 令和6年度日田市アクションプランの達成指標・取組指標

1 学校評価4点セットの達成状況

令和6年度学校評価の4点セット 達成指標(学力)の評価	1学期	2学期	3学期	※学期末の評価を1～4で入力 (達成指標が複数ある場合は、平均を四捨五入した数値)
	3			

※プルダウンで数値を選択

2 取組指標

① 「新大分スタンダード」と自校の【③取組内容】に基づいて、単元計画と本時案(略案)を作成して、授業を担当する全教員が11月までに公開授業(互見授業含む)を実施する。	授業担当者数 7人	授業を公開した教員の割合	
		7月末時点 100%	11月末時点 %

※割合(%)は四捨五入して整数表示

② 管理職または教務主任等は、授業観察シートをもとに、経験の浅い教員(採用10年以内)1人に対し学期に3回以上授業観察を行う。	1学期	○	2学期		3学期	

※プルダウンで○、×を選択

③ 計画的に互見授業を実施し、全教員が学期に1回以上自校の教員の授業を参観する(校内研を除く)。	1学期	○	2学期		3学期	

※プルダウンで○、×を選択